

みやざきDXさがけプロジェクト推進事業 質問への回答

令和7年4月30日

質問内容	回答
<p>1 「(1) ひなたデジタルアカデミア2025の実施」について →求職者向け、学生向けともに定員80名となっていますが、定員をオーバーした場合でも、受付してもよろしいでしょうか。</p>	<p>はい。受け付けただいてかまいません。 なお、申込自体は定員によらず一旦全ての申請を受け付けた上で、面談等を通して、定員を目処に、受託者において適正な事業実施が可能な範囲で最終受講者を決定するなどの調整をいただくことも可能です。</p>
<p>2 「②学生向けITスキル講座」について →中間報告会と最終報告会は、対象となる学生全員が必要でしょうか。</p>	<p>原則として、参加者すべてが参加することを想定しています。 (やむを得ない事情等により参加できない場合を除きます。)</p>
<p>3 「③県内企業への就職支援」について →「社員との意見交換会」「企業訪問」の定員は、学生と求職者を合わせた人数と理解してよろしいでしょうか。また、企業訪問の定員は各社で10名必要という理解でよろしいでしょうか。それとも、5社合わせて10名でよろしいでしょうか。</p>	<p>「③県内企業への就職支援」にて掲げた内容は、過年度事業を元を取組例を例示したものとなります。各コースの参加者に対し、県内IT企業等との接点を作ることができる具体的な取組案を、提案書の中でお示しいただきますようお願いいたします。</p>
<p>4 「③県内企業への就職支援」について →「希望者には、面談やキャリアコンサルティングを行い」とありますが、この担当はキャリアコンサルタントの資格を持つ者である必要はありますか。</p>	<p>特定の資格を有する者の配置等は要件としておりませんが、有資格者による対応等が想定される場合には、資格の名称や人数等を提案書の中で具体的にお示しください。</p>
<p>5 「(3) 本事業全体の運営マネジメント」について →「受講者と連絡が取れる関係・環境を構築すること」とありますが、構築手段に制限はありますか(例えばLINEは不可等)。</p>	<p>ご使用いただくツールについては、特段の制限等はございません。ツールの使用に際して個人のアドレス等を使用する場合には、各参加者に対し十分な事前説明の上、同意を得て使用いただくこととなりますので、ご注意ください。</p>
<p>6 「5 事業の目標」について →求職者向けITスキル講座「修了者数」の「修了要件」は、どの様に考えればよろしいですか</p>	<p>仕様としての定めはございませんので、ご提案いただく講座内容等を踏まえ、事業目的である県内企業への就職等につながるような修了要件を貴社にてご提案ください。</p>
<p>7 「みやざきデジタル人材育成事業」業務委託仕様書より、委託業務の内容は①～③までございますが、これらは全て一括で対応することが募集要件となりますでしょうか？それとも、②のみ実施、のように1つ選んで応募することは可能でしょうか？</p>	<p>委託業務の内容①～③について、全て一括で対応することが募集要件となります。なお、共同企業体を構成して本企画提案に参加することは可能となっておりますので、企画提案競技実施要領をご確認ください。</p>
<p>8 学生向けITスキル講座の詳細について。 ハンズオン形式とありますが、これはリアルタイム、オンデマンド問わずという認識で良いでしょうか</p>	<p>はい、ご認識の通りです、 なお、リアルタイムでの実施を想定していますが、オンデマンド形式とされる場合は、実施方法等を提案時にお示しください。</p>